

モーツアルト室内管弦楽団 第173回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester/ 173.Regulärkonzert

〈クリスマス合唱名曲集〉

日本—ベルギー国交樹立150周年記念／モーツアルト記念合唱団創立25周年記念



2016年12月17日(土)午後2時■いずみホール

Samstag, 17. December, 2016 14Uhr Izumi Hall Osaka

- 主催:モーツアルト室内管弦楽団 <http://moz-kam.org>
- 協賛:いずみホール(一般財団法人住友生命福祉文化財団)
- マネジメント:大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504

Program

モーツアルト室内管弦楽団 第173回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester / 173.Regulärkonzert

2016年12月17日(土)午後2時●いづみホール

Samstag, 17. December, 2016 14Uhr Izumi Hall Osaka

《クリスマス名曲集》

〈日本・ベルギー国交樹立150年記念〉〈モーツアルト記念合唱団創立25周年記念〉

モーツアルト◆ミサ曲 ハ長調 K.317 《戴冠式ミサ》*

Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791) / Messe C-dur KV317 „Krönungs-Messe”**

I. Kyrie: Andante maestoso — Più Andante — Andante maestoso come prima

(4部合唱、独唱:ソプラノ、テノール)

II. Gloria: Allegro con spirito

(4部合唱、独唱:ソプラノ、アルト、テノール、バス)

III. Credo: Allegro molto — Adagio — Tempo primo

(4部合唱、独唱:ソプラノ、アルト、テノール、バス)

IV. Sanctus: Andante maestoso — Allegro assai(4部合唱)

V. Benedictus: Allegretto — Allegro assai — Allegretto — Allegro assai

(独唱:ソプラノ、アルト、テノール、バス、4部合唱)

VI. Agnus Dei: Andante sostenuto — Andante con moto — Allegro con spirito

(独唱:ソプラノ、テノール、4部合唱)

* * *

カルケ◆《天上より》一合唱と金管五重奏のための一

Ernst-Thilo Kalke (1924-) / “Vom Himmel hoch” für Chor und Blechbläserquintett

ピンカム◆《クリスマス・カンタータ》一合唱と2つの金管アンサンブルのための一

Daniel Pinkham (1923-) / “Christmas Cantata” for Chorus and Double Bass Choir

I. Maestoso — Allegro molto ritmico

II. Adagio

III. Allegro

◆ラター編曲によるクリスマス・キャロル

Christmas carols arranged by John Rutter(1945-)

さやかに星はきらめき**／O Holy Night** (アダン／Adolphe Adam(1803-1856))

まきびと羊を／The First Noel (イギリスのキャロル／English traditional carol)

グルーバー◆きよしこの夜

Franz Xaver Gruber(1787-1863) (編曲者不詳／Traditional arrangement)／Silent Night／Stille Nacht

ソプラノ:田中 希美*／Sopran:Nozomi Tanaka*

アルト:高原いつか*／Alt:Itsuka Takahara*

テノール:西垣 俊朗*／Tenor:Toshiro Nishigaki*

バス:萩原 寛明*,**／Bass:Hiroaki Hagiwara*,**

合唱:モーツアルト記念合唱団／Chor:Mozart Choral Ensemble

管弦楽:モーツアルト室内管弦楽団／Mozart-Kammerorchester

コンサートマスター:釋 伸司／Konzertmeister:Shinji Shaku

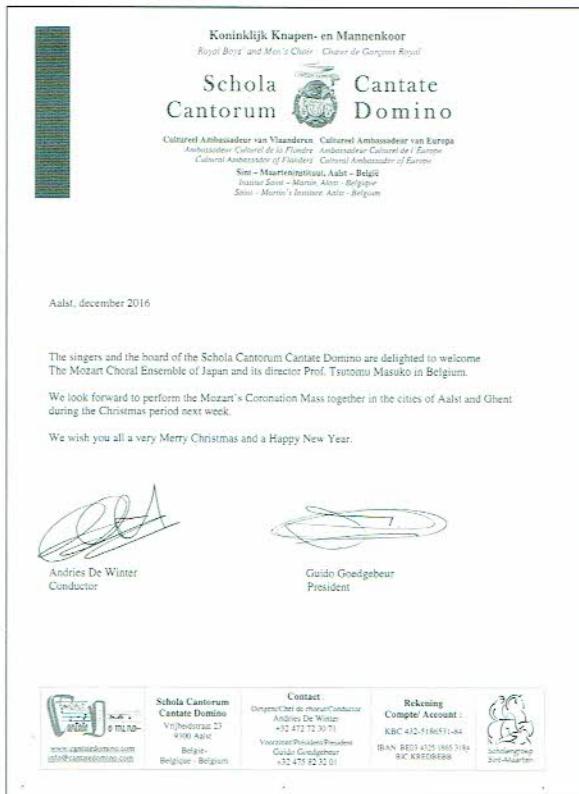
指揮:益子 務／Dirigent:Tsutomu Masuko

モーツアルト記念合唱団との25年

25年前にモーツアルト記念合唱団が作られて以来、練習と演奏会はいつも楽しみです。まず音楽的に信頼できる歌い手の集まりであること(時々は音程が怪しい時もありますが)、日本語以外にも英語、ドイツ語、フランス語、ラテン語等々、言語に対する「アレルギー」がほとんどないことなどです。通常の譜面は音取りの練習を必要としません。指揮者としては、バランスと音楽的な表現を7回～12回で高めてゆくことが出来るからです。メンバーは各パート10名前後で創設当時からモーツアルト室内管弦楽団とのバランスが取れるように、しっかりとした「声」で構成してきました。

これまでに文化使節としての2回のベルギー演奏旅行やロッシーニの「小莊厳ミサ」のCD録音など、ほぼプロとしての活動をしてきたのですが、メンバーの多くは教員、サラリーマン、会社経営者と他に仕事を持って活動しているため、時間的制約が多く国際的な活動を困難にしています。今回も12月22日にベルギーのAalst市MijlbeekのLOV van Bijstands教会、25日には同じくベルギーのゲント市、聖Baafs大聖堂(ユネスコ世界遺産)のクリスマスの礼拝で「戴冠ミサ」を演奏します。今後、メンバーや指揮者の高齢化対策をしながら楽しい合唱音楽の活動に取り組んでいきたいと考えています。

2016年12月のコンサートへのベルギー王立児童合唱団カンターテ・ドミノからの招待状。



■モーツアルト:《戴冠式ミサ》K.317

モーツアルトは最後の作品《レクイエム》を含めて生涯に18曲ほどのミサ曲を作曲している。そのほとんどがザルツブルク時代の作品である。それはザルツブルクの大司教に使える身の最も重要な義務であったからである。そのザルツブルク時代の最後から2番目のミサ曲がこの《戴冠式ミサ》である。《戴冠式ミサ》の名の由来はどうもはっきりしないようだ。少なくとも作曲された時には具体的な戴冠式があったという記録はないらしい。むしろずっと後年、モーツアルト最晩年の1791年に行われたレオポルト2世のプラハでの戴冠式に使われたのでこの名が付いたと推測されている。ザルツブルク時代のミサ曲中最も有名な曲で、今日でもよく演奏されている。管弦楽法も豊かであるのは、作曲の少し前に終えた「マンハイム・パリ旅行」における収穫のあらわれであろう。因みに、この曲の前後にはフルート協奏曲第1番K.313、同第2番K.314、フルートのためのアンダンテK.315、超高音ソプラノのためのコンサートアリア《テッサリアの民よ》K.316、交響曲第32番K.318、交響曲第33番K.319、《ポストホルン・セレナーデ》K.320といった名曲がならんでいる。

(この項のみ門 良一)

■カルケ:天上より

エルнст=ティロ・カルケは1924年、ドイツ、シュトゥットガルト生まれの作曲家。この曲はコレッリ(Arcangelo Corelli,1653-1713)のパストラーレと伝統的な5曲のクリスマス・キャロルを、合唱と金管アンサンブルの為のファンタジアとして編曲したものである。使用されているキャロルは「私は天より遣わされ」「Vom Himmel Hoch, da komm ich her」、「羊飼いたちよおいで」「Kommet ihr Hirten」、「小さな薔薇の花が咲いた」「Es ist ein Ros' entsprungen」、「雪は静かに降り」「Leise rieselt der Schnee」そして「清しこの夜」「Stille Nacht」(Silent Night)である。

■ピンカム:クリスマス・カンタータ

ダニエル・ピンカムは1923年米国マサチューセッツ州生まれ。ハーバード大学・大学院で学位を取得。ウォルター・ピストン、アルトウール・オネゲル、サムエル・バーバー、ナディア・ブランジェーなどに師事。ニューイングランド音楽院の音楽学の教授などを務めた。作品には室内楽からオーケストラ作品、オペラ、テレビのドキュメンタリー番組の音楽まで幅広い。

この曲は1957年に、ニューイングランド音楽院の合唱とアンサンブルによって初演された。作曲者は16世紀後半のヴェニスの作曲家、ジョヴァンニ・ガブリエリ(Giovanni Gabrieli,1557-1612)に傾倒し、この作品の第2楽章には中世の教会单旋聖歌が用いられている。またルネッサンスのダンスのリズムが第3楽章では華やかな彩を添えている。なおこの曲は1997年のモーツアルト室内管弦楽団第82回定期演奏会において、筆者の指揮の下に演奏されている。

Profile



田中希美●ソプラノ

相愛大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学研究科修了。ドイツ・ケムニツ歌劇場より招聘され、「魔笛」夜の女王でドイツデビュー。オペラでは特にコロラトゥーラのものを得意とし、バロックから現代物までとレパートリーも広い。またその澄んだ声質を生かし、宗教曲・合唱曲のソプラノソリストとしても活躍している。現在では、ヴォイストレーナーとしても高い信頼を得、多くの若いソリストや合唱団、高校・大学のサークルの指導にもあたっている。関西二期会正会員。



高原いつか●アルト

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。第15回和歌山音楽コンクール奨励賞受賞。第57回全日本学生音楽コンクール大阪大会入選。ABC新人コンサートオーディション本選出場。J.S.バッハ「カントータ147番」、ヘンデル「メサイヤ」、ベートーベン「第九」アルトソリストの他、オペラでは「カルメン」メルセデス、「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、ゲルトルート、眠りの精、「泣いた赤鬼」女房を務める。神戸市混声合唱団団員。



西垣俊朗●テノール

大阪音楽大学大学院修了。在学中より活躍し、数多くのオペラで好演する他、特にエヴァンゲリスト歌いとして高く評価されている。神戸市文化奨励賞、兵庫県芸術奨励賞受賞。関西二期会理事。



萩原寛明●バス

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。ウィーン国立音楽大学卒業。オペラや演奏会に多数出演、オーケストラとの共演も多い。関西二期会、日本シャーベルト協会会員。神戸女学院大学、兵庫県立西宮高校音楽科講師。

●モーツアルト記念合唱団 Mozart Choral Ensemble

1991年にモーツアルト室内管弦楽団の要請を受け特別編成された合唱団。女声は若手プロを中心に、男声は合唱王国関西の著名合唱団の指揮者、パートリーダーに参加を要請、1991年7月に益子務氏の指揮のもと発足、同年12月モーツアルト没後200年を記念してモーツアルト室内管弦楽団第48回定期演奏会でモーツアルトの「レクイエム」を協演後、毎年協演を重ねる。93年初の単独自主公演でジャニース・ワグナー氏を客演指揮者に迎え、「ロジェ・ワグナー・メモリアルコンサート」を開催。98、2000年ベルギー・フランドル政府の招きで文化交流使節として2度にわたりベルギー演奏旅行を行い、ブリュッセルのサン・ミシェル大聖堂での演奏、FM-3での放送などで大成功を収めた。2000年設立10周年記念にCD「ロッシーニ小莊巣ミサ」をリリース。2010年には神戸で行われた日本音楽療法学会での大会長公演、2011年モーツアルト室内管弦楽団との合唱団創立20周年記念コンサートに引き続き、2012年には合唱団の自主公演として20年の歩みを記念したコンサートをいずみホールで開催。今年25周年を迎えるにあたり、「日本—ベルギー国交樹立150年記念」コンサートを開催後、「ベルギー日本国交樹立150周年行事」としてベルギー、アールステ市(聖マルティヌス教会)、ゲント市(聖バーフス大聖堂)にてクリスマス大ミサを演奏旅行。

ソプラノ	赤城 史穂	島谷 陽子	錢田 美幸	谷本 雅美	谷本 由美	友金 郁子
	中田 佳代	平芳真寿美	福井 園子	山本 真紀	御池あゆみ	渡邊 智子
アルト	以倉安希子	井村 園子	大矢喜久子	古結 洋子	佐野 康子	田中 薫
	中口真由美	中谷 典子	中根 佳江	森田 裕子		
テナー	スザン・ワグナー	岡本 弘信	桑田 明和	近藤 達夫	陶山 悟嗣	辻 幸二郎
	中村 達雄	前山 典彦	古川 完	吉田 均		
バス	小畠 博	杉野 文昂	二階堂哲雄	野村 透	林 龍太郎	ピーター・フィンケ
	米岡 実	渡邊 守				

練習ピアノ 植松さやか

★パーティやイベントを音楽の生演奏で★

モーツアルト室内管弦楽団があなたのお手伝いを致します。パーティやイベントを音楽で盛り上げましょう。小は二重奏から大は40人のオーケストラまで、ご予算に応じた編成をご提案します。曲目等のリクエストにも応じます。お問い合わせはお気軽に下記までどうぞ。

モーツアルト室内管弦楽団事務局:090-9286-9290

●指揮:益子 務 *Tsutomu Masuko, Conductor*

京都大学教育学部卒業後、同大学院在学中にロジェ・ワグナー合唱団と契約し渡米。1968年からシカゴ・リック・オペラなどのソリスト。シンシナティ大学大学院声楽科を経てインディアナ州立ポール大学で修士号取得、同博士課程修了。1977年より武庫川女子大学音楽学部教授(声楽・音楽療法)。ドレスデン国立歌劇場、マイマール音楽大学、ノヴォシビルスク国立グリンカ音楽大学などで客員教授。指揮者としてはモーツアルト室内管弦楽団・モーツアルト記念合唱団、カメラータ・フィルハーモニカ・ボヘミア(チェコ)などを指揮。毎夏プラハで室内楽の教授、指揮を行う。2008年から毎年チェコ、ベルギー、ドイツで指揮し、2014年夏には、「雪の聖マリア教会」(プラハ)、世界文化遺産の聖バルボラ教会(クトウナ・ホラ市)でモーツアルト作曲のハ短調「大ミサ」「レクイエム」などの指揮。2014年には「テレジン・ユダヤ人収容所開放70周年」のコンサートで犠牲者の詩による作品の初演をテレジン及びプラハで演奏。2015年9月にはEU文化首都芸術祭から招かれ、ベルギー、モンスにおいて世界文化遺産の聖エリザベート教会およびアフリゲム修道院でも演奏し、大成功を収める。2016年12月にはベルギー、ゲント市のバーフス大聖堂のクリスマス・ミサでモーツアルト「戴冠ミサ」などを指揮する予定。また、音楽療法の教育・実践において精力的な活動を行い、2002、2010年の日本音楽療法学会全国学術大会長を務める他、2010年には「東ヨーロッパ芸術療法学会」の基調講演を行うなど、ドイツ、チェコ、ベルギーの大学でも音楽療法分野で活躍している。



●モーツアルト室内管弦楽団 *Mozart-Kammerorchester Japan*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、45年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツアルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツアルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツアルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツアルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツアルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シブリアン・カツカリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツアルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シティオペラの協力による〈モーツアルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツアルト生誕250年記念特別企画としてオペラ『イデメネオ』の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を举行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07~09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09~11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を、15年からは〈創立45周年シリーズ〉を開始している。

《メンバー》 コンサートマスター 釋 伸司

第1ヴァイオリン	釋 伸司	本多 智子	松本 紗希	北村 奈美	森住 憲一	中野 瑞己
	大西 秀朋					
第2ヴァイオリン	中川 敦史	黒江 郁子	田原口安代	徳田 雅子	幣 晴代	池内 美紀
ヴィオラ	武田 充代	伊藤奈由美	三吉 朋子	春田真理子		
チェロ	夏秋 彩	中嶋 寄恵	高田 愛	皆川 隼人		
コントラバス	滝本 恵利	松本 友樹				
フルート	大江 浩志	久保田裕美				
オーボエ	福田 淳	辨天 芳枝				
クラリネット	高橋 博	門 小夜子				
ファゴット	佐伯 利之					
ホルン	佐藤 明美	林田 優惟				
トランペット	大西 由起	滝村 洋子				
トロンボーン	茶屋 淳子	中尾 友紀				
ユーフォニアム	竹本 裕一	岸部 雅史				
テューバ	織田 貴浩					
ティンパニ	深川 雅美					
ピアノ	山口 真理子					
	福井 鈴					
	植松さやか					

《次回のモーツアルト記念合唱団との協演》

「第179回定期演奏会」

2017年12月3日(日)午後2時 いずみホール

〈ベートーヴェン・シリーズ〉第7回(最終回)

交響曲 第9番 ハ短調 作品125《合唱付》ほか

独唱:西垣千賀子、福嶋あかね、西垣俊朗、田中 勉
合唱:モーツアルト記念合唱団(合唱指揮:益子 務)

指揮:門 良一

モーツアルト室内管弦楽団 後援会

事務局 TEL06-6135-0503 / FAX06-6135-0504

大阪市北区天神橋3-3-3南森町イカビル5F 大阪アーティスト協会内

会長 谷口 安平 (京都大学名誉教授)

監事 玉井 英二 (三井住友カード特別顧問)

顧問 伊藤 郁太郎 (大阪市立東洋陶磁美術館名誉館長) 梅原 猛 (国際日本文化研究センター顧問)

(50音順)

《法人会員》(50音順)

荒川化学工業	三孝社	住友倉庫	六紙業
関西電力	サンリーホールディングス	ダイキン工業	福山製工
き小阪	新日鐵住金	高松建設	マキ住宅
林野商	住友精密工業	中西金属	井住友カード
野商店	住友生命保険	羽	三井住友銀行

《個人会員》(入会順・敬称略)

深福梅石岸梅屋國稻浮桑三水渡平安阿中村松筈緒確長岸能宮祐金菅日	枝利之男 享子 枝子夫 清恵人 光彰子 寛助久朗子 好子久子 こ歛次典卓子子
晴隆一千克博正千克博正千代太正千代也	瑞茂嘉義 真久み眞 幸勇信
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	知つ紀 委成哲 正道常小晴雅よ 幸雅 孝智
和暁和暁孝正方啓武佐成敦武恒和 安隆志靖熙哲陽四	里達英郁重満規康忠 孝喬三道須由市妙彰昭康
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	藤池川原谷田狩狩田上見見瀬阪松藤江民松藤西西山村山須分野田橋
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	加続門早森長富乾井井原村東増閑曾筑苧笠近松宇高後今今島青那国文富士
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	子子朗子武浩秀純子子一吉司子夫博健一子男昭昌子子行明介美子司二二明
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	清時悦外代清基香道隆提清典哲壽郁鉄尊孝富真理良義雄久洋浩一英好
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	渕竹崎口本山原井井本磯井原原村本瀬山谷下野木田垣原辺川田井北村崎木
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	河佐宮野森小野松松山大細大山橋梁松松山萬八松西榎渡小能河宮奥市櫛
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	助和子夫子男宏助司子子詞男道子透男子朗昭雄郎一朗猛子藏郎生子子司子
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	啓明和暁孝正方啓武佐成敦武恒和 安隆志靖熙哲陽四
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	もと榮勝紘祐芳昭祥
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	藤馬阪和桑石高川中中豊切三神杉野今玉野橋有佐小田島松得菱豊飯宮塩塩
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	原場野田名光杉島井井田畠石林浦村井手崎本賀野柳中村井田谷田井脇脇
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	田岡原本田村良友垣田山谷浦島辺川藤部川本本川林井井田井野定定高
和佐佐也也治和子弘子夫子洋子幸夫道士子彥龜門豊治子光子徳穂	田岡原本田村良友垣田山谷浦島辺川藤部川本本川林井井田井野定定高

会費・個人会員につきましては年会費1口2万円です。・法人会員につきましては年会費1口10万円です。

会員の特典・年間6回の自主公演にご招待致します。(1口に付き個人各1枚、法人各5枚)

- ・ご同伴者は10%割引となります。
- ・関連演奏会のご案内またはご優待を致します。
- ・定期演奏会プログラムにご芳名を記載させていただきます。
- ・会報「ディヴィエルティメント」をお送り致します。